

やあだ通信

誠実 情熱 行動



発行者 安田あつし後援会
住 所 米子市尾高1694
TEL 0859-27-1835
FAX 0859-27-1901
携 帯 090-8064-3775
<http://www.komei.or.jp/km/yonago-yasuda-atsushi>



新型コロナウイルス感染症対策 -病床を確保し、ワクチン接種を着実に-

皆様には、日頃より公明党に力強いご支援をいただき、心より感謝と御礼を申し上げます。こちらは市民生活の課題に耳を傾け、その課題解決に取り組む公明党の安田あつしでございます。

こんにちは。こちらは公明党です。新型コロナウイルスの感染拡大が続き、1月には11都府県への緊急事態宣言が再び発令されました。

特に、感染拡大による医療機関の逼迫が報道され、医療提供体制の維持が困難になると危機感をお持ちの方もおられると思います。

公明党は、皆様のご不安を解消し、地域の医療体制の維持、確保に万全を期すため、全力で取り組んでおります。



新型コロナウイルス感染症の第3波では、感染者の急増により医療現場の状況が逼迫しています。「医療崩壊」が懸念されるなど、感染者が多い首都圏等では、大変に厳しい状況が続いています。

このような状況を受け、公明党は、あらゆる機会を捉えて、医療現場の声を政府に届けました。昨年9月2日に「医療機関へのさらなる支援に向けた緊急提言」を申し入れたことに続き、その時々状況を踏まえた対策を要望してきました。

医療崩壊を食い止めるためには、まずコロナ患者を受け入れる病床を確保することが必要です。医療機関はコロナ禍の中で、患者数の減少等で経営も厳しい状況に置かれており、経営面での支援が必要です。

そこで、1月、今年度の予備費を使い、コロナ患者向けの病床を確保した医療機関への支援金を1床当たり最大450万円上乗せする緊急支援を決定しました。

これにより重症者向け病床は最大1,950万円、それ以外は最大900万円に拡充されました。(裏面に続く)

2月の活動を掲載

伊木隆司米子市長候補に
公明党鳥取県本部より
推薦状授与
1/22



活動を紹介



伯仙地区水鳥を守る会では古紙回収の収益金を米子水鳥公園に寄附しました 1/31



都市計画道路 葭津和田線 (和崎かけはし通り) 開通式 2/16

その上で、第3次補正予算、21年度予算案のいわゆる15カ月予算では都道府県が地域の実情に応じ、病床や軽症者の宿泊療養施設の確保に充てられる「緊急包括支援交付金」を約1.3兆円増額します。

また、今年の4月から半年間、全ての患者で診療報酬を増額し、病院の感染症対策の取り組みを支援します。さらに、6歳未満の子どもの診療にあたる医療機関や、症状が回復した新型コロナの患者を転院先として受け入れた医療機関に対しても、昨年12月から診療報酬を加算していますが、来年度もこれを継続します。このような措置を通じて医療提供体制の維持確保に万全を期しています。

感染収束のカギを握るのがワクチンです。このワクチンについては海外の製薬会社から1億5,000万人分以上を購入することで、契約をしております。公明党は、このワクチンの確保について、政府への質疑の中で、その財源として予備費の活用を答弁で引き出し、停滞していた交渉の突破口を開きました。

確保されたワクチンの接種スケジュールは正式にはこれから決まっていますが、まず、新型コロナ患者と接触する機会が多いと見込まれる医療従事者を対象に2月末頃から始まり、高齢者の方、基礎疾患のある方などと順番に行われていく見込みです。このための予算も5,700億円確保しています。

接種の具体的な連絡は、皆様がお住まいの自治体を通じてお知らせする予定となっております。公明党は、全国約3,000人の国会議員、地方議員のネットワークを通じて、現場のワクチン接種が1日も早く円滑に進むよう、取り組んでまいります。

今後とも公明党は、皆様安心して病院にかかれる、医療を受けられるよう、また、ワクチン接種が速やかに、円滑に進むよう国会議員、地方議員が団結し、新型コロナウイルス対策に全力で取り組んでまいります。どうか引き続き皆様の声、現場の声を公明党にお寄せください。